令和元年度助成事業の成果について

令和元年度（前期・後期）助成団体事業成果表

『青少年アンビシャス運動支援の会』では、運動に参加する団体に対し、青少年育成に繋がる顕著な活動への財政的な支援を行っています。令和元年度までに財政的支援を行った件数は４２０件を数え、21世紀の福岡県を担う青少年の育成に大きく寄与しています。

令和元年度（前期・後期）の助成事業として、１４事業（前期：７事業、後期：７事業）を助成しました。※元年度(後期)NPO法人川塾北九州の事業は天候不良により中止。

(1)　前期助成決定分（７事業）
【長期継続活動支援（4事業）】

No.1

番号	団体名 （所在地）	活動名及び活動内容
1	環境ネットワーク「虹」 （福津市） 	【活動テーマ：環境保全活動の推進】 **地域の里田・里山の生物多様性保全プロジェクト2019** 福津市の里田・里山において、農業体験や自然観察・生物調査を行い、その結果をグループワークで話し合い、生物多様性の保全意識を醸成することができた。 里田では、田植えから稲刈りや脱穀等、年間を通した米づくり体験や収穫米の調理体験を行うとともに、田んぼの生き物を調査し、生物多様性に気づかせることができた。 また、里山では、外部講師を招いた自然観察会や福津市に生息する絶滅危惧Ⅱ類のニホンアカガエルやカスミサンショウウオ等の調査を行い「生き物マップ」づくりを行った。
2	福津市子ども読書連絡協議会 （福津市） 	【活動テーマ：その他】 **絵本や本の楽しさを子どもたちに2019** 福津市内の読書ボランティア団体がネットワークを作り、子どもたちが絵本や本の世界の楽しさを知る体験を通じて読書の幅を広げ、豊かな人間性の育成や読解力の底上げを図る活動を行ってきた。 今年度は、自然科学系の絵本作家を招いた講演会や、福津市内の中学校に読書ボランティアを派遣し、毎月、全クラスで読み聞かせを行うとともに、小・中・高校生を対象として、子どもたち自身が面白い本など「お薦めの本」を紹介し、情報交換する「ビブリオトーク」を開催し、学校現場での導入を働きかけていくことができた。

番号	団体名 （所在地）	活動名及び活動内容
3	**子供囲碁教室交流実行委員会** （久留米市） 	【活動テーマ：その他】 **子供囲碁教室合同交流会** 平成29年4月に県内12の子供囲碁教室が参画して組織を立ち上げ、囲碁を通して社会貢献できる青少年の育成を目的に親善囲碁大会等の活動を始めた。囲碁を社会性の発達や人格形成、論理的思考能力育成に適した頭脳スポーツと位置づけ、囲碁を学ぶ子どもたちに、より幅広く交流できる場を提供することで向上心を持たせ、棋力だけでなく人間性の向上を目指す指導を行った。 今回は、子どもたちの自主性・責任感を養うため、大人がサポートしながら、子どもたちが主体となって企画や運営を行う囲碁大会やペア碁大会を開催することができた。
4	**篠栗森づくりの会** （糟屋郡篠栗町） 	【活動テーマ：環境保全活動の推進】 **「森で遊ぼう」教室** 当団体が整備した里山を活用し、子どもたちに四季折々の自然体験をさせるとともに、異年齢間での交流活動により、身体能力や感性、社会性や自尊心を育成する活動を行うことができた。 また、里山の植物や昆虫等の観察、植樹活動や果樹の収穫体験、野外工作や野外調理など幅広い体験活動を、子どもたちが自主・自律的に行い、活動を通して生きる知恵や技術を学ぶことができるよう支援を行った。さらに、これまでの活動に加えて、中学校と協働し、中学生ボランティアの育成にも取り組むことができた。

(2)　後期助成決定分（７事業）

【長期継続活動支援事業（５事業）】

No.1

番号	団体名 （所在地）	活動名及び活動内容
1	特定非営利活動法人 福間津屋崎子ども劇場 （福津市） 	【活動テーマ：その他】 **和太鼓・しの笛体験事業**　～まつりで生き生きと発表しよう～ 日本の伝統楽器演奏活動を通じて豊かな表現力を育むとともに、異年齢間の仲間の中でコミュニケーション力を培うことを目指し、地域の祭りやイベントで発表の場において、成果発表の場を設け、子どもたちが目標に向けて最後まで努力することの大切さを学ばせる取り組みを行った。 今年度からは、対象年齢層を幼児から高校生まで拡大(参加２５名)するとともに和太鼓に加えて「しの笛」体験活動も行った。また、指導者以外にも和太鼓を体験した子どもたちが小さい子とせもたちを指導するなど、自主性を尊重した練習体制を作ることができた。
2	総合型地域スポーツクラブ スポーツBRANDEX福岡 （那珂川市） 	【活動テーマ：スポーツ活動の推進】 **地域で育てる！女子サッカー育成プログラム** 総合型地域スポーツクラブとして、自転車等を使ってスポーツの振興を図ってきたが、今回新たに、市内でまだ取り組まれていない「女子サッカー」で選手の育成を目指した活動を行った。 小学校高学年から中学生までの女子を対象として、当クラブの子どもたちをはじめ幅広く募集を行い年間延1000名の参加があった。毎週2回の練習や月１回の練習試合を積み重ねるなかで、子どもたちはチームワーク、協調性、最後まであきらめないことの大切さなどを学ぶことができた。
	つくしヤングラガーズ （福岡市博多区） 	【活動テーマ：スポーツ活動の推進】 **つくしヤングラガール** ラグビーというスポーツを通して強い心と体を鍛えることはもちろん、仲間とのコミュニケーションや連帯意識、礼儀を重んじること等を教えるなど健全育成を図る活動を行ってきた。 本事業では「女子ラグビー」に着目し、いずれはクラブチーム創設を目標とし24名の参加があったものの、女子部の創設には至らなかったものの、キック、パスワークなどラグビーボールの親しみ興味を持つこと、安全に配慮しながらラグビーの動きを身に付ける感覚を育てていくことができた。

番号	団体名 （所在地）	活動名及び活動内容
①	特定非営利活動法人 山の上のフリースクール Saita （糸島市） 	【活動テーマ：その他】 **自然の中で　話そう！　食べよう！　感じよう！** 平成29年に開校したフリースクールで、糸島市二丈の山の中腹において、不登校の子どもたちを受け入れた。 自然豊かな糸島のキャンプ施設を活用し、フリースクールに通う子どもたちと、学校に通える子どもたちとの交流イベントを通じ、友だち同士のコミュニケーションを取れるようになることを目指し、野外調理や梅の実の収穫、ゲーム、スポーツ、学習等の様々な体験活動を行った。
②	こども花だんプロジェクト （大牟田市） 	【活動テーマ：環境保全活動の推進】 **こども花だんプロジェクト** 放置状態にあった大牟田市大正町交差点内の空き地の美化を図るため、花のある場所にしようと花壇整備を行った。 近くの小学校児童が花壇のデザインを考え提案するとともに、植替え等、１年を通して花壇の世話をすることで、子どもたちに豊かな心や環境美化意識、責任感を持たせ成長につなげることができた。 また、今回は整備する花壇を3か所増やすとともに、子どもたちの中からリーダーを決め、デザインから花植え、手入れまで、より主体的に取り組めるよう、話合いをして進めていくことができた。
③	特定非営利活動法人 私　善 	【活動テーマ：食育の推進】 **タネ植える、収穫する、調理する、販売する、食する** **農産物一環体験** 農産物がどのように栽培、収穫、販売されているかなどの一連の流れを、子どもたちに直接体験をさせることが、農産物に関する理解を深めるうえで大切である。 このため、田植えから稲刈り、野菜の収穫、調理、イベントでの販売などの様々な農業体験活動を行うことを通じて、子どもたちに、年間を通じた自然と農業の関わりや農産品が食卓に届くまでの幅広い視点での関心や知識を学ばせることができた。

番号	団体名 （所在地）	活動名及び活動内容
4	**福岡県立柏陵高等学校 環境科学コース** （福岡市南区） 	【活動テーマ：環境保全活動の推進】 **「環境」の視点からＳＤＧｓ11「住み続けられるまちづくりを」に貢献** 県立柏陵高校環境科学コースでは、環境に携わる人材育成を目指した取り組みを行った。 昨年度は、生徒たちが、朝倉市杷木での柿収穫の農業ボランティアとして活動した。また、廃棄される柿の多さにおどろき、地域の課題である朝倉市杷木町復興支援策の一つとして、柿の有効利用方法について生徒が自主的に検討し、柿パイ、柿ようかん試作づくりにも取り組み朝倉市杷木の地域の方たちとの交流会の場で、柿スイーツ試食会を行うことができた。 これらの取り組みを通じて、地域課題である地域復興支援における農産物の有効活用ということについて、生徒たちは主体的で積極的な学びの機会となった。
5	一般財団法人 **福岡県バレーボール協会** （福岡市博多区） 	【活動テーマ：その他】 **福岡県中学生ビギナーズバレーボール交流会** 中学校でのバレーボール部には、ジュニア等での経験者と初心者・未経験者が混在し、力量に格差があるため、継続が困難と感じる生徒が存在した。このため、初心者等のみを集めた「交流会」という場を設定し、モチベーションを維持し、継続して取り組む意識付けを行った。 交流会では、バレーボールについての講話と高校の指導者と高校生を補助者として実技指導を行い、初心者等の意欲向上につなげることができた。

【短期活動支援事業（２事業）】 No.3

番号	団体名 （所在地）	活動名及び活動内容
①	**沖田地区国際交流 実行委員会** （北九州市八幡西区） 	【活動テーマ：その他】 **日韓学生文化交流事業** 日本と韓国の中学生・高校生を対象に、韓国への派遣と日本への受入れを行い、相互の交流を図ることで国際感覚を身に付けグローバルな人材育成支援として日韓学生文化交流事業を実施した。 事前研修として、簡単な韓国語をはじめ、韓国の文化や歴史、現在の情勢などを4回にわたって学ぶ研修を行い、8月4日から4日間、釜山広域市の中・高一貫校や保育院を訪問した。 この活動を通じて、参加者(高校生10名)は、現地の児童・生徒と文化交流等活動を行う中で、お互いの生活習慣、歴史文化について理解を深めることができた。
②	**遠賀川上流古代祭り 実行委員会** （飯塚市） 	【活動テーマ：その他】 **遠賀川上流古代祭り** 「遠賀川上流古代祭り」（９月１５日開催）において、太鼓、ダンス等の発表や、卑弥呼のイラストや古代歴史に関する書道の展示を行うとともに、古代に因んだ火おこし・勾玉づくり・弓矢などの体験活動により、地域の歴史や文化を楽しく学ぶ活動を行った。 この活動を通じて、　嘉飯桂地区（嘉麻市・飯塚市・桂川町）の古代遺跡・遺物を教材として、子どもたちに郷土の歴史や文化に関心を持たせ、地域への誇りを抱かせることで郷土愛を育成し、子どもたちの自尊感情を高めることができた。